

鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和3年度第1回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会
開催日時	令和3年5月27日(木) 10:00~11:30
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 3階 中会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 新委員の紹介 3. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 鳥羽市地域公共交通計画の概要について 【資料1】 (2) 令和2年度鳥羽市地域公共交通会議決算について 【資料2】 (3) 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について 【資料3】 (4) 令和2年度かもめバス利用状況統計について 【資料4】 (5) 鳥羽市地域公共交通網形成計画の目標達成状況について 【資料5】 4. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議のスケジュール(案)について 【資料6】 (2) 地域内フィーダー系統確保維持計画について 【資料7】 5. その他
会議資料	事項書・席次表・委員名簿 【資料1】 鳥羽市地域公共交通計画の概要について 【資料2】 令和2年度鳥羽市地域公共交通会議決算 【資料3】 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果 【資料4】 令和2年度かもめバス利用状況統計 【資料5】 鳥羽市地域公共交通網形成計画の目標達成状況一覧表 【資料6】 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議スケジュール(案) 【資料7】 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)
公開・非公開の別	公
傍聴人の数	4人
出席委員	立花会長、加藤委員、三村委員代理 清水氏、中垣内委員、濱崎委員、中村委員、山下委員、鈴木委員、松林委員、外谷委員代理 安部氏、山路委員、羽田委員代理 濱口氏、今井委員、田畑委員、辻川委員
オブザーバー	なし
欠席委員	小崎委員、杉阪委員、山下委員、片岡委員、豊田委員
事務局	定期船課 世古、西根、角谷
<p>1. あいさつ</p> <p>○事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 ・出欠報告 <p>○会長挨拶</p> <p>昨年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い様々な感染防止対策が講じられた。そのよう状況の中、鳥羽市地域公共交通計画を策定することができた。</p> <p>今年度から、同計画に基づいた事業を関係部署と連携して実施していく。感染防止対策を講じながら、安全安心に公共交通機関を利用していただけよう努めていきたいので、ご協力いただきたい。</p> <p>本日の会議は中部運輸局に提出する令和4年度認定申請を中心にご討議いただきたいので、忌憚のない意見をお願いしたい。また、報告事項についても事業評価結果に関することなど多岐にわたるため、限られた時間の中、スムーズな会議進行にご協力いただきたい。</p> <p>2. 新委員の紹介</p> <p>事務局より新委員の紹介を行った。</p>	

3. 報告事項

(1) 鳥羽市地域公共交通計画の概要について

○事務局

資料1について説明。昨年度承認いただいた鳥羽市地域公共交通計画について、年度が変わり委員の交代もあるため、市広報誌にて掲載予定の準備段階原稿を基に改めて計画の概要を説明。

○委員

計画の概要として、初めて見る方にとってわかりやすくまとめられていると感じた。

○委員

答志島の陸上交通について、どの程度まで話が進められているのか。

○事務局

5年間の計画であるため、これから地域の皆様も含めて協議していく。令和5年度に船舶建造予定であるため、それに合わせたダイヤ改正についてこれから2年間で検討していく。

○委員

かもめバスの収益を上げる施策などを協議し路線バスの維持確保についてこれまで検討してきたが、福祉バス・スクールバスとの兼ね合いは。

○事務局

かもめバスと福祉バスでは一部重複している区間があり、不公平感の解消を考えなければいけない。全てをかもめバスでまかなうのではなく、地域に応じた交通についてこれから探っていきたい。

○会長

様々な交通手段を繋ぎ合わせながら、市民の移動手段の確保に努めたい。

○委員

昨年の方改正でのキーワードが総動員。地域にある交通手段を繋ぎ合わせて多くの人が移動しやすく、費用を抑えられるかということを実行的に行うための会議である。コンパクト+ネットワークで移動の流れもまとめれば同じ時間に同じ方向へ行く人が増えるので、同じダイヤでも利便性が上がったと感じられる。この会議で策定した交通計画に基づいて、どのように実行し、5年後にどのように見直すのかについてもこの会議で検討していくことになる。

○会長

待合所の整備なども含まれてきますが、10年20年先を見据えながら地道に取り組んでいきたい。委員の皆様においてもご協力をお願いしたい。

(2) 令和2年度鳥羽市地域公共交通会議決算について

○事務局

資料2について説明。

監事羽田委員の代理である濱口氏より出納は適正であると監査報告があった。

○会長

令和2年度鳥羽市地域公共交通会議決算について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。(全員挙手) ご承認ありがとうございます。

(3) 令和2年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

○事務局

資料3について説明。中部運輸局からの二次評価結果を報告。

(4) 令和2年度かもめバス利用状況統計について

○事務局

資料4について説明。路線別乗車人員や乗車券別利用枚数の統計について報告。

○会長

とくに4,5月の緊急事態宣言等の影響による利用者の大きな減少があった。

○委員

コロナの影響で観光客の利用が減るのはどうしようもないが、資料では市民の利用は減っていないということがわかる。ハッピーチケットが典型で、バスを使って移動している市民はコロナ禍においても

バスを利用していたということが重要である。コロナ禍が終わった後に観光客が戻ってきてくれるか、市民で出控えや車移動の方にどのようにバスを利用してもらうかについて考えなければいけない。

(5) 鳥羽市地域公共交通網形成計画の目標達成状況について

○事務局

資料5について説明。

○委員

市民満足度について、上位の項目について教えてもらえるか。収益比率利用者数が激減しているが、国から補助金などの財政措置はあるのか。

○事務局

市民満足度について、無作為抽出した対象者に5段階評価でアンケートを行った。毎年水道事業が1位であり、雇用や就労が最下位となっている。

○事務局長

かもめバスは国からの補助金を受けている。定期航路は欠損額に基づいて国及び県から補助金を受けている。足りない部分については一般会計からの繰入金となる。

○委員

できるだけ一般会計からの繰入金が少なくなるような施策をやっていかなければいけないと感じた。

○委員

満足度は総合的なもの。公共交通は多くの場合、重要度が高く、満足度が低くなっている。鳥羽市がどのような位置になっているか興味がある。

○事務局

鳥羽市の結果は施策が中央に集まった結果となっている。重要度の方が高く、満足度が真ん中より少し低い結果である。

○委員

資料5について、去年との比較と新計画での目標が並べられているとよかった。目標についてはコロナの影響を踏まえて見直すことも検討しないといけない。

4. 協議事項

(1) 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議のスケジュール(案)について

○事務局

資料6について、年間の会議スケジュール及び承認を受けた予算を基に今年度実施する事業について説明。

○事務局

コンパクト+ネットワークという考え方を長期的に進めていく際に、公共施設をコンパクトにしていくとともにどのように移動するのか、または移動しなくてもよいオンラインでの手続きなど考えていきたい。関係各課と検討し、地域との協議の場をコロナ禍ではあるが設けていきたい。

○会長

町が分散しているので市の中心地に集約していくネットワーク作りは難しいと考えているが、人口が減少していくなかで効率がよいものが作れるようにチャレンジしていかないといけない。

○委員

長期的にスリム化していくなかで、公共交通がネットワークの幹とならなければいけない。鳥羽の場合、港に拠点施設があると離島も本土も集まることができるなどが考えられる。

○会長

令和3年度鳥羽市地域公共交通会議スケジュール(案)について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。(全員挙手)ご承認ありがとうございます。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について

○事務局

資料7について説明。鳥羽市地域公共交通計画に基づき、確保・維持が必要なフィーダー路線について、記載した目標や事業を説明。

○委員

実施した聞き取り調査とは、具体的にどのようにして調査されたのか。

○事務局

乗降時に利用者にインタビュー形式で直接聞き取りを行った。

○委員

印象に残った意見があれば教えてほしい。運転手の意見はどうだったか。

○事務局

高齢者が増加しているなか、乗降に必要な時間が増えてきていることを考慮したダイヤ編成の必要があるといった意見があった。

○委員

運転免許証自主返納者支援事業の周知について、現在も取り組んでいるが、今後拡大していくなど具体的なものはあるか。

○事務局長

現時点での取り組みを継続するものである。しかし、運転に不安がある方など対象となり得る方は増加するとみているので、老人クラブに出向いて説明を行うなど手法については検討していく。

○委員

Google マップでの路線検索について、検索方法によっては経路情報が出ないことがある。実際に使用してみて、出したい情報が出ない場合は修正できるので対応した方がよい。個別でアプリを作成するより、多くの人がよく使うアプリやサイトで対応できるように整備していかなければいけない。これは路線検索だけでなく、支払い方法でも考えなければいけない。鳥羽市の公共交通の Web ページについても整備が必要だと感じた。

○会長

地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について、ご承認いただける方は挙手をお願いします。（全員挙手）ご承認ありがとうございます。承認いただきました地域内フィーダー系統確保維持計画を中部運輸局三重運輸支局へ提出させていただきます。

5. その他

○事務局長

鳥羽市コミュニティ交通案内システムについて、平成 21 年度から導入し修繕等の対応をしているところではあるが、現在は鳥羽マリンターミナルのみ稼働している状況である。新しいシステムや機器に更新するには費用負担が大きいため、Google での路線検索など交通案内システムとは別の方法で情報提供していきたいと考えている。

6. 閉会

○会長

令和 3 年度第 1 回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会の議事については全て終了しました。これにて、令和 3 年度第 1 回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会を終了させていただきます。